

一学校教育目標一

よく学び 心豊かで

たくましい上間っ子

(1) よく考え進んで学ぶ子

(2) 明るく思いやりのある子

(3) ねばり強くたくましい子

学校便り

第27号

R5年12月7日(木)

那覇市立

上間小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3327

上間っ子

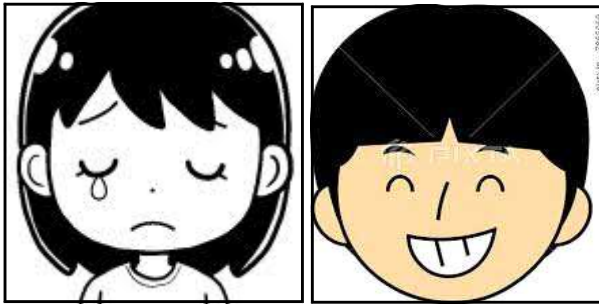
お話朝会

-自分も相手も気持ちのよい言葉遣いをしよう!!-

本校では、毎月、第2水曜日に人権の日を設け、学年集会で人権意識を高めるための取り組みをしています。学年集会での取り組み後は、各学級でも掲示して目につくようにしています。12月の目標は、「いじめ」や「さべつ」をなくそうです。

私は、次のような話をしました。

校長先生がある学校に行ったときの出来事です。玄関前のくつ箱のところで、女の子のことを「ゴリラ」と大きな声で叫んでいる人を見ました。校長先生は、二つの顔を見ました。「ゴリラ」と言った人の顔と、「ゴリラ」と言われた人の顔です。泣きそうな顔の絵と、ニヤニヤしている顔の絵を出しました。



この2枚の絵がどちらの顔か、みなさんは、わかりますね。

泣きそうな顔か？、言われた人です。

ニヤニヤしている顔か？、そう、言った人です。これって、二人とも違う気持ちです

よね。言われた人の気持ちは？「悲しい。言われたくないなあと思っている。」

言った人の気持ちは？「楽しそう。ふざけているからいいだろうと思っている。」

この二人は、本当に友だちなのかな？

友だちって、こんな風に、相手に悲しい思いをさせて、自分だけが楽しいのかな？

こんなことは、「楽しい」とは言いません。本当の「楽しい」とは、二人ともが楽しそうな表情をしているものです。自分が楽しいだろうなあと思っても、相手は楽しいと思わないことがあります。

人間だから失敗することもあります。

でも、このようなときは、すぐにあやまりましょう。きちんと顔を見てごらん。泣きそうな顔をしています。悲しそうな顔をしています。そんなときは、「いやなことを言ってごめんなさい」ときちんと言葉で伝えるのです。友だちだったら、きっと許してくれることでしょう。口から出す言葉は、消しゴムでは消えません。相手が目で見たり、聞いたりした言葉は、心のなかに残ります。みんなは、相手の心のなかに手を入れて、消しゴムで消さないでしよう。だから、言葉は大切なのです。

友だちや人に向かって話すときこそ、一度考えみましょう。思いついて、ぱっと言うことも大切ですが、一度じっと考えてみるのです。

その言葉を、体のなかで1周させて、「いいかな？」と考えるのです。「どうしよう」と悩んだときは、言わないことです。

上間っ子は、「自分も相手も楽しい」と思える言葉遣いができますか。